

文教厚生委員会会議録（要点筆記）

日時：令和7年4月1日（火）

午後2時00分

場所：委員会室

○中村和也委員長

ただ今から、文教厚生委員会を開会します。議事を行います。

議案第47号「地方独立行政法人知多半島総合医療機構第1期中期計画の認可について」を議題とします。当局の補足説明を求めます。

○竹内健健康課長

補足説明はありません。

○中村和也委員長

補足説明は終わりました。ただ今から質疑を行います。ご質疑ありませんか。

○鈴木英華委員

病床稼働率や患者数について、想定を大きく下回った場合、市はどのように赤字対応をしますか。

○竹内健健康課長

地方独立行政法人への繰り出しは、基準が定められているため、赤字が生じても、市に負担増は生じない見込みですが、地方独立行政法人に全て任せるのではなく、市が運営協議会等で協議し、チェック機能を働かせることにより対策を講じていきます。

○有留麻由委員

知多半島総合医療センターの病床数が、従前の病院と比較し減っている中で、ベッドコントロールは適切に行う体制が構築されているのでしょうか。

○竹内健健康課長

経営統合により、りんくう病院との一体運用が可能となるため、よりベッドコントロールが適切に行えるものと考えています。

○有留麻由委員

紹介予約について、現在の紹介数が令和6年が1万5千50件とのことですが、令和7年は1万4千800件を目標値としています。減った理由は何ですか。

○竹内健健康課長

令和7年度は、りんくう病院の紹介率が換算されていないことが要因です。

○有留麻由委員

常勤の助産師看護師の離職率を見ると合計で9.7%となっており、新病院の職員の数心配です。現在の必要な職員の数、またそれが令和7年度満たされているのか教えてください。

○竹内健健康課長

職員の定数はありませんが、半田市と常滑市の職員を集めて運営していくしかない状態の中で、極端に少ないという認識はありませんが離職率が高いのは否めません。医師の長時間労働の縮減や、育児介護制度の導入など、離職率を下げる取組を行っていきます。

○有留麻由委員

DXの推進は、人口減少時代において必要な取組であると考えますが、先日病院を見学した際には、透析、措置室、ナースステーション、他にも様々な役割と、多くの人手が必要であると私は感じました。また、医療には人ではないとできないことが多いと思いました。そういった中で、経営に関する目標値について、給与費比率が徐々に下がっている理由は何ですか。

○竹内健健康課長

給与費比率は、医業収益に占める給与費の比率であり、医業収益が今後上がっていく見込みであるため、給与費の比率は下がっているものです。

○鈴木幸彦委員

新病院の外部評価というのは、誰がどのように行うのでしょうか。

○竹内健健康課長

こちらで会計監査委員長を任命し、外部の目もしっかり届くようなチェック体制を設けていきます。また、半田市と常滑市で運営協議会を立ち上げ、業績のチェックや職員体制のチェックを行います。

○鈴木幸彦委員

半田市議会にも監査の報告はもらえるのでしょうか。

○竹内健健康課長

議会への報告はする決まりとなっておりますので、させていただきます。

○中村和也委員長

しばらく休憩します。

休憩 午後2時27分

再開 午後2時40分

○中村和也委員長

会議を再開します。ほかに、ご質疑ありませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、これで質疑を終わります。お諮りします。ただ今から討論を省略して、採決に入ります。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

ご異議なしと認めます。ただ今から採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の委員の挙手をお願いします。

【賛成者挙手】

挙手多数です。よって、議案第47号については、原案のとおり可決しました。

以上で、当委員会に付託されました議案は、審査を終了しました。なお、委員長報告は、正副委員長にご一任いただきたいと思いますと考えますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

ありがとうございました。その他で何かございましたらお願いします。

【「なし」との声あり。】

ないようなので、以上をもちまして、文教厚生委員会を閉会します。

閉会 午後2時44分